

無垢材(無塗装)のメンテナンスについて

この度は、弊社のフローリングをご採用いただきましてありがとうございます。
無垢床材の特徴を再確認していただき、永く・快適に ご利用いただけますようお願い致します。
表面の塗装方法によってお手入れ・メンテナンス方法が異なりますのでよくご確認下さい。

無塗装でご利用の皆様へ

無塗装は、基本的におススメしておりません。
ぜひ、床の保護材として何かを(ウレタン塗装や自然塗装など)塗っていただくことをお願い致します。
その理由
無塗装のままですと、他の仕上げと比較すると汚れやすい状態です。
その為、人の汗や脂を初めあらゆる水分を吸いこみやすくなります。
また、スリッパ等の裏の汚れも付きやすく結果として**黒ずんでしまう**事があります。
その点を、よくご理解の上ご判断下さい。

1. 無垢材の特徴

・無垢は湿気にたいへん敏感です

『木』は自然の調湿機能を持ち、湿度の高い日は空気中の水分を吸収し膨張します。
また湿度の低い日は水分を吐き出し収縮します。このように無垢材は気候あるいはお部屋の環境により伸び縮みを繰り返したいしますので、こういった伸縮を考慮して施行する必要があります。
湿度の影響により反り、ねじれ、割れといった現象がでる事もありますが当社では現象を極力抑える為に人工乾燥を入念におこなった木材を使用しています。
但し、無垢材を湿度の影響から完全に防ぐことは不可能です。
反り、割れや伸縮は木の自然現象で木が生きている証でもあります。
人間及び無垢材の快適な湿度は50～60%とされており、快適な室内環境を保持される事をお勧めします。
無垢材の特性に対するご理解をお願いします。

・木は呼吸しています

湿度の影響により、膨張や収縮が発生し、隙間や盛り上がりが発生することもあります。
この伸縮や反りは木の自然現象で、生きている証でもあります。
暖房やエアコンなどの暖房機器等の使用も隙間、割れの原因になります。
温風ヒーターの風等熱風が長時間当たることは、十分にご注意ください。
その他、ホットカーペットを使用した場合カーペット下に熱がこもり、反りやひび割れ、毛羽立ちの原因となります。どうしても使用する必要がある場合には、ホットカーペットの下に断熱性の高いマットを引き高温で長時間使用しないようにして下さい。

・色違い・柄違い

自然素材の為、1枚1枚表情が違います。色や柄の違いは本物の証です。

・変色について

無垢材は天然木のため、太陽光や照明器具等により変色(日焼け)することがあります。
窓際等変色しやすいので、なるべくスクリーンやブラインドで太陽光の直射を遮ってください。
ペットの排泄物もフローリングの変色の原因となりますので、直ちに雑巾で拭き取って下さい。

・水は厳禁

水に濡らすと膨れ、反り、シミ、色むら、カビの原因になります。キッチン廻りや浴室の入り口、トイレ等水がかかる可能性の高い場所へは水きりマットをおススメします。
また水等こぼした場合は素早く拭き取ってください。
また、メンテナンスで業務用のポリッシャーのように水を含む物や蒸気を出す掃除器具のご使用は避けて下さい。

・キズ・へこみ

キャスター付の椅子の使用や家具(重量物)等を置いたり、引きずったりするとキズ、へこみの原因となります。特にパイン系の柔らかい材はキズがつきやすいので硬い材をお選びいただくか、脚元にフェルト貼りや小幅の保護材等敷くことをお勧めします。

2. メンテナンス方法（無塗装の場合）

日頃のお手入れ

毎日のホコリは箒や掃除機で取り、乾いた柔かい布で空拭きしてください。水ぶきはお勧めしません。

よごれ

- ①掃除機でほこりを取り、固く絞った雑巾で拭いて下さい。
- ②最後に乾いた雑巾で乾拭きをします。

ご注意

無塗装に市販のワックス等を直接塗装すると床が水分を吸って表面がざらつき、毛羽立ちやムラの原因になります。こすりすぎると表面がささくれ立つので注意してください。無塗装は汚れが付きやすいのでお掃除の際はきれいな雑巾を使ってください。

また、汗などが垂れるとシミの原因になりますので、特に夏季はご注意ください。無塗装でご使用になってからオイルを塗ると、汚れが浮き出る事があります。

必ず表面の研磨をおこなってください。

水などをこぼしてしまったら

速やかに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に色のついた液体(しょうゆ等)はすぐに拭き取ってください。万一、放置して水分を吸ってしまった場合シミになったり、木の表面が収縮により反り、割れが起きる場合もございます。

*無塗装は、なにも塗っていないので水分が浸透しやすく、色もの液体の場合にはなかなか落ちなくなってしまう場合があります。また、水分を拭き取らずに放置しておくと、ケバ立ちや膨張が発生します。

*洗面化粧台などの水廻りは水・石鹼成分が飛び散ることがあります。石鹼などに含まれる成分は浸透性や洗浄機能が高く、そのまま放置しておくとカビが発生したり・変色が発生します。飛び散った場合には、すぐに乾いた布などでふきとっていただけますようお願い致します。一度発生したカビは取り除くのが難しいのでご注意ください。

補修方法について

- 軽微な傷・クリーナーで落ちない汚れを落とす場合
 - ①傷、汚れなどを#180~240位のサンドペーパーで杓目方向に沿って、かけます。(このとき、小さい番号のものから大きいものへ順番にかけていくときれいに仕上がります。)
 - ②掃除機でほこりを取り、乾いたやわらかい布できれいに拭き取ってください。

軽微な傷は上記方法で補修できますが、ペットなどによる深い傷、タバコなどの焦げ跡は取れません十分ご注意ください。

- 凹み傷ができた場合
軽微な凹みのみ下記の方法で、多少修復できる場合があります。
 - ①アイロンと濡れタオルと水を用意します。
 - ②凹んだ場所に水をほんの少し垂らします。
 - ③少し水分を床材に浸透したら濡れタオルをその上に置きます。
 - ④その上にアイロンを載せて温めてあげます。
 - ⑤5~10秒ほどを2~3回繰り返すとある程度元に戻ります。
 - ⑥その後、床が乾いて時に毛羽立ち等がある場合には#180~240位のサンドペーパーで杓目方向に沿って、かけます